

# 発達 の 段階 に応じた授業づくりの 視点 指導の手立ての具体

## Before



ねらいを達成するために、どのように手立てを考えたらいいのかな？

例) 小学校6学年 内容項目「相互理解, 寛容」(教材「ブランコ乗りとピエロ」)の指導の手立て

ねらい

異なる意見を受け止めて自分の思いを伝え合ったピエロとサムの心を考えることを通して、謙虚な心を持ち、相手の立場を尊重して分かり合おうとする道徳的実践意欲や態度を育てる。

意見の異なる友達の考えをなかなか受け入れられない児童の実態があるので、本時では「相手の立場を尊重することの大切さ」を児童に実感させることに重点を置いて、指導したいと考えました。



実態把握で想定した児童の問題意識から、**目指す児童の姿**に迫るための具体的な手立てを考えましょう。「相手の立場を尊重するために大切なこと」に気付かせるような板書の工夫をしてみてもいいでしょうか。



始めに、意見の異なる考えを受け入れられない思いを黒板の両端に表し、そこから、互いに心を寄り添わせ、相手の立場を尊重した思いを捉えられるように板書を考えました。

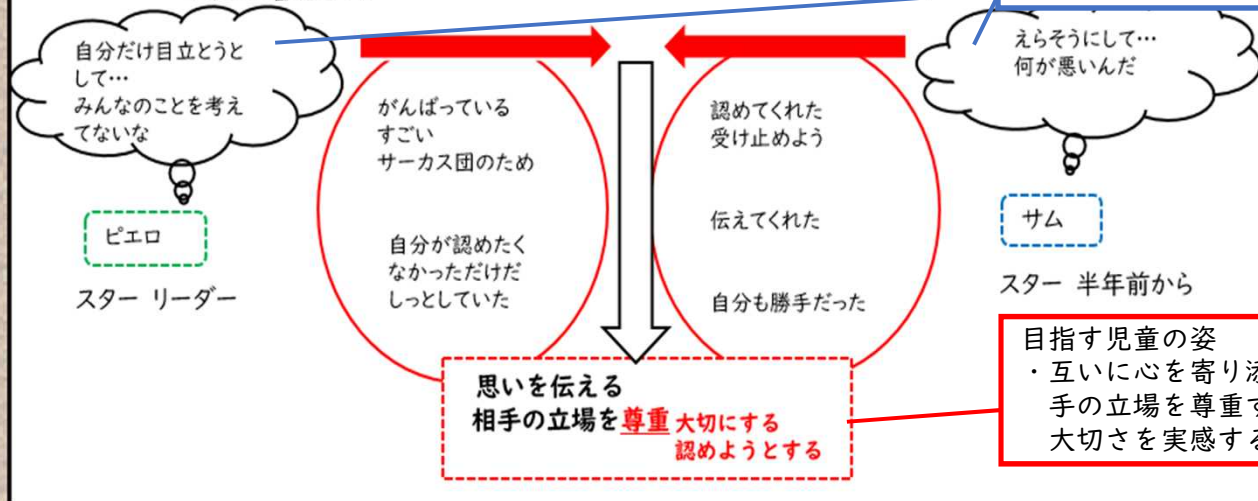
### 板書の工夫

むずかしい…  
ちゃんと言えない

意見や考えがちがう相手と分かり合うために

実態把握から想定した児童の問題意識

・意見の異なる友達の考えをなかなか受け入れられない。



児童に考えさせたいことをはっきりさせて、板書を工夫しましたね。さらに、授業のねらいを達成するための発問を考えてみましょう。



意見の異なる他者の考えを受け入れられない気持ちに共感させるため「二人はお互いをどのように思っていたか」という発問や、「相手の立場を尊重することの大切さ」を実感させるため「相手を憎む気持ちが消えたのはなぜか」という発問を考えました。



## After

児童生徒の問題意識と授業で目指す児童生徒の姿を意識することで、指導の手立てを具体的に考えることができました。授業のねらいを達成するために、指導観を明確にして発問や板書、教材提示等を工夫することが大切だと分かりました。

